



no 09

共に創り、
分かち合う

江津

umegokigumi

株式会社 梅垣組

創業から90年近くになる歴史ある建設会社「梅垣組」は、東京を本社に、日本全国の様々な地域に営業所を展開、建築を中心に活躍している企業です。ここ島根には江津営業所があり、日本製紙江津工場内の新規設備投資の設計施工並びに既存建築物等の維持管理業務を行っています。建設現場というと、現場作業員が活躍するイメージがありますが、梅垣組の社員は彼等を取りまとめる「現場監督」の仕事を行なっています。実は、一つの建築物ができあがる過程には、さまざまな人の仕事が多岐にわたって積み重なっています。彼等が手際よく動けるよう調整し、完成に導いていくリーダーが現場監督という仕事なのです。意外だと思いますが、現場監督の仕事は現場で働く作業員の安全確認や、作業工程管理により高品質の建物を工期内に引き渡すのが役目であり、現場で実際に手を動かして工事をするものではありません。しっかりと人と向き合せて、計画や調整を得意とする方にはぴったりの仕事です。



顧客のことを最優先に考える

代表取締役 梅垣賀春さん

梅垣組の創業者である私の祖父は、1923年に起こった関東大震災の復興工事に建設会社の東京支店責任者として関わりました。震災で家をなくしたり、工場が焼けて仕事を失った大勢の人達を目の当たりにして、一刻も早く、普段の生活に戻してあげようと尽力したそうです。そんな悲惨な状況からの立て直しを経験していたからこそ、祖父は「お客さんが困っていたら、どんなに厳しい条件のもとでも、なんとかやりくりして期待に応えていく」という顧客のことを最優先に考える方針を掲げました。この方針は90年経った今でも変わりません。そんな梅垣組で、仕事をする際の醍醐味は、“お客様と深く触れ合って、モノを作っている人の喜びを分かち合えること”だと思っています。そのためには、言われたことだけを黙々とやるのではなく、先方の希望や仕事内容を理解するために、しっかりと目を見て話し合い、意見を交わす、密なコミュニケーションが求められます。もう当社の社員じゃなくて、お客様の社員になれと言ってしまうようになるくらい、仕事にのめり込んでいます。その想いがあるから、お客様と一体となった仕事ができるんです。そこから得られる様々な経験は、きっとみなさんの成長につながると思いますよ。



Interview

社員さんインタビュー



江津作業所 所長 山本さん

江津作業所では、日本製紙江津工場内にある建物を改修したり、住宅、研究施設の新設などの仕事をしています。その際、どこにどれだけのお金がかかるかを計算して、計画や図面作成とプレゼンを行います。全体を把握しなければいけない仕事なので、他の建設業者よりも包括的な知識を得られると思います。建設業というイメージが高いイメージがありますが、業務に必要な資格は入社後に取得できます。結局、現場に出て学ぶことの方が多く、知識よりも「建設業をやってみよう」という意欲の方が大切ですね。現場監督は、どれだけ若くても現場を統括する立場になるので、自分のおじいちゃんくらいの年齢の人に、指示を出すこともあります。プロの職人さん達と、密に接して、お互いに認め合える関係作りが大切です。建物は40年50年とそこにあり続けるので、自分が汗水流して設計した建物が、年数を帯びていくごとに地域の景観の一部、当たり前の景色になっていってしまいます。その様子を見ることが建設業のやりがいですね。

Company Date

業種：建築・土木・プラントの設計・施工・
監理・不動産取引及び仲介
創業：1931年
従業員数：38名
代表：梅垣賀春
場所：本社／東京都港区西麻布1丁目5番17号
江津営業所／島根県江津市江津町1280



◀MACHI TERASUの
WEBページ

Q. どんな人が向いてる？



江津作業所は2018年にできたばかり。東京で1年間の現場研修を経験後、江津作業所の現場監督候補として働くことが出来ます。建設業に興味があって、人とのコミュニケーションをとるのが好きな人ならきっと活躍できるはずです。